

EA815YG-2A

([AC100V/DC12V]バッテリーチャージャー)

《使用目的》

バッテリーチャージャーは、家庭用AC100VをDC12Vに変換して12Vバッテリー(開放型鉛バッテリー)への普通充電や、始動補助(セルブースト)を行うものです。

*家庭用AC100V電源に接続されないと普通充電も、始動補助も出来ません。

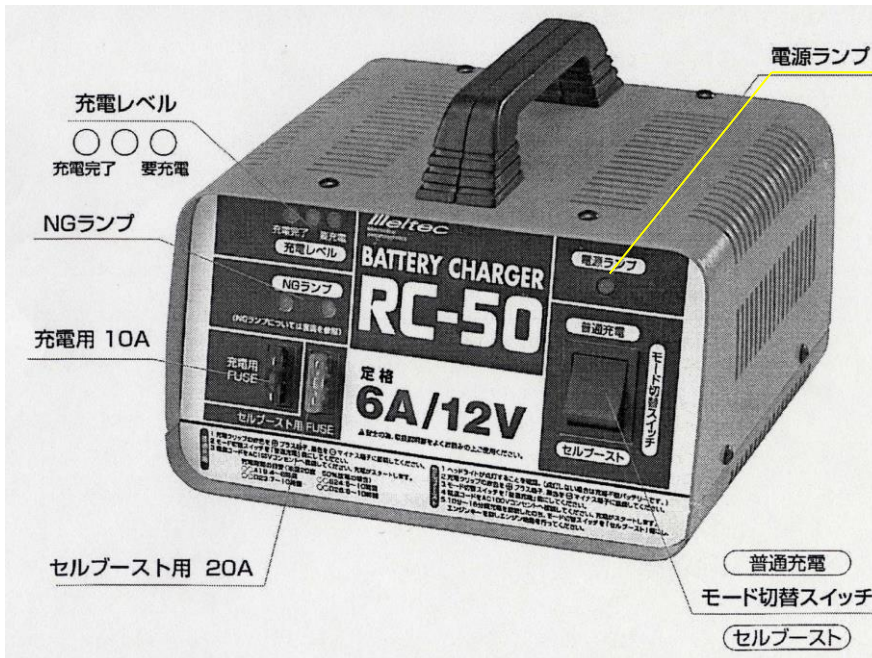
*使用目的以外の使用は絶対にしないで下さい。

適合バッテリー(開放型)

充電時間の目安	液温20℃・50%放電時のバッテリー			
適合バッテリー	〇〇A19	〇〇B24	〇〇D23	〇〇D26
充電時間	約4h	約5h	約7h	約8h

*6V・24Vバッテリーやシール型(密閉型)バッテリーへの普通充電や始動補助(セルブースト)はできません。車載バッテリーの種類及び形式を確認してください。

《各部の名称》



《機能説明》

◆普通充電機能…自然放電や夏期でのエアコン使用等で酷使され弱ったバッテリーを定期的な補充電で最良の状態に回復しバッテリーの寿命を伸ばします。

◆始動補助機能…バッテリーの容量不足によるエンジンの始動困難時に、5分～30分の補充電後、始動補助できます。

***始動補助機能での普通充電及び、補充電はできません。**

《仕様》

交流入力	AC100V 50/60Hz 105VA	
直流出力	普通充電時	DC12V 6A
	始動補助時	DC12V 30A
適合バッテリー電圧	12V	
適合バッテリー容量	21Ah～65Ah	
充電メーター(電流計)	赤(要充電)・黄・緑(充電完了)の3段階カラー表示	
入・出力コードの長さ	約1.5m	
サイズ	183(W) × 143(H) × 170(D)mm	
重量	約3.7kg	
保護回路	入力側	ヒューズ内蔵
	出力側	ヒューズ: 普通充電10A/セルブースト: 20A

《使用方法》

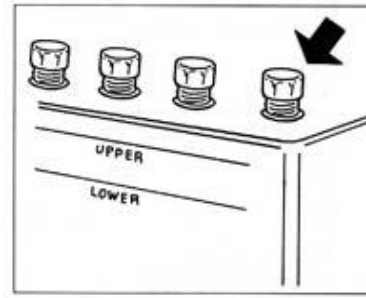
I. 充電するバッテリーの準備

バッテリーの液口栓(キャップ)を全部取り外し、液口の上に締め付けずのせておいてください。

(充電中、バッテリー内部より発生するガスの排出及び、バッテリー液がまわりに飛び散らない様にするため。)

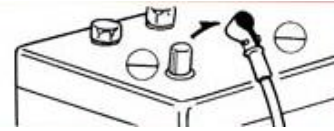
*安全液栓付バッテリー・液栓が外れないバッテリーを除く。

バッテリーの電解液量を点検し、液面線の間以下に低下している場合は最高液面線(UPPER LEVEL)まで精製水を補充してください。



【車上普通充電】

やむを得ずバッテリーを車両に搭載したままで充電を行う場合には必ず！車両バッテリー マイナス端子のケーブルを外して下さい。



II. 普通充電の操作手順

①準備のできたバッテリーのプラス端子に充電クリップの赤色プラスをバッテリーのマイナス端子に充電クリップに黒色マイナスを容易に外れないよう確実に接続して下さい。充電ランプが点灯します。

②本器の切換スイッチを普通充電側にセットします。

③家庭用AC100Vコンセントに電源プラグを差し込みます。充電メーターが振れ充電が開始されます。



充電レベルの確認

充電レベルランプは、赤色、黄色、緑色の全色点灯から充電が進むと赤色、黄色と順番に消灯し、最終は緑色のみ点灯することで充電完了を表します

	LEDレベル表示	充電内容	作業内容
充電初期	 全色点灯	電流が流れすぎです。	10~20分程充電して赤色ランプが消灯しない場合は充電を中止してください。
充電中期	 緑色点灯 黄色点灯	適性電流です。	そのまま充電を続けてください。
充電終期	 緑色点灯	ほぼ満充電になりました。緑色LEDのみが点灯しています。	緑色ランプ点灯後、30分位充電すると満充電の状態です。それ以上の長時間充電は過充電になり危険ですのでご注意ください。

※始動補助(セルブースト)時の場合、LEDランプは点灯しません。
※電流値によりLEDがちらつく場合があります。

●充電初期から緑色LEDだけが点灯する(赤色・黄色がすぐに消灯する)場合

- ・バッテリー容量が小さい場合。
- ・充電できている(満充電の場合)。(充電の必要はありません)
- ・サルフェーションバッテリーの場合

●レベル表示のLEDが3色とMP点灯し長時間赤色LEDが消灯しない場合

【過放電したバッテリー、劣化・適合外バッテリー】と考えられます。これらのバッテリーを充電されますと、規定以上の電流量が流れ保護回路が作動して充電できない場合があります。

●深放電放置バッテリーに普通充電した場合

放電したままバッテリーを長時間放置されますと、充電開始時、バッテリーは電気を受け付けません。また、大電流が必要となり、保護のためヒューズが切れてしまいます。

Ⅲ. エンジン始動補助(セルブースト)の操作手順

家庭用AC100Vコンセントが必要です。延長コード等をご用意下さい。

- ①車両のエンジンはOFFの位置にしてください。
電装品(エアコン、オーディオ等)もOFFにしてください。
- ②車両のバッテリーは通常搭載されたままの状態、バッテリー液口栓(キャップ)も車両側バッテリーも外さないで下さい。
- ③充電器をエンジンスタート時の振動などで、動いたり落ちたりしない所に置いて下さい。
- ④本器の充電クリップ赤色プラスを、バッテリーの車両ケーブルプラス端子に、充電クリップ黒色マイナスを車両のエンジンプラグに接続して下さい。
極性のプラスマイナスを間違わず、充電クリップが容易に外れないよう確実に接続してください。
- ⑤本器の切換スイッチを普通充電側にセットしてください。
- ⑥家庭用AC100Vコンセントに電源プラグを接続して下さい。
10分～15分充電【補充電】して下さい。
バッテリー容量・周囲温度により補充電の時間は変わります。容量が**大きいほど、又温度が低いほど長く補充電して下さい。**
- ⑦補充電後、切替スイッチをセルブースト側にセットし
【通電3秒以下】・【休止7秒以下】で【繰り返し回数10回以下】でエンジンキーを廻して始動して下さい。

セルモーターの回転が重い(遅い)状態や、エンジンがかからない時は切替スイッチを充電側に戻し、再度補充電を30分以上行ってから切替スイッチをセルブースト側にセットし、エンジンキーを廻して始動させて下さい。

再度補充電しても、セルモーターの回転が重い(遅い)状態や、エンジンがかからない時はバッテリーの完全放電や不良が考えられます。
普通充電中で充電し比重計などでバッテリーの状態を確認して下さい。
エンジン始動補助(セルブースト)として使用するときは、
【通電3秒以下】・【休止7秒以下】で【繰り返し回数10回以下】
を厳守して下さい。

